

ウォッチガード、「Omdia Global Cybersecurity MSP Ecosystems Leadership Matrix 2026」で 4 年連続「チャンピオン」に選出

**Unified Security Platform、エージェント型 AI、クラウドセキュリティ機能の拡張を通じて、
MSP の事業拡大に貢献する継続的なイノベーションを推進**

2026 年 9 月 4 日 (金) - 企業向け統合型サイバーセキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ／アイデンティティセキュリティ／エンドポイントセキュリティ）のグローバルリーダーである WatchGuard (R) Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、以下ウォッチガード）は、「Omdia Global Cybersecurity MSP Ecosystems Leadership Matrix 2026」において、4 年連続で「チャンピオン」に選出されたことを発表しました。

Omdia Leadership Matrix（旧称：Canalys Cybersecurity Leadership Matrix）は、MSP エコシステムの向上を推進する上で重要な役割を果たすサイバーセキュリティベンダーを評価するものです。2026 年のレポートでは、アナリストによる評価、MSP からのフィードバック、パートナーの評価、およびチャネルイネーブルメント（支援体制）、市場に対するモメンタム（推進力）といったパフォーマンス指標に基づき、24 社のサイバーセキュリティベンダーを評価しました。ウォッチガードのリーダーシップスコアおよびモメンタムスコアにより、同社は強力なリーダーシップを発揮し、パートナー戦略およびその実行において継続的な進歩を見せているベンダーが位置付けられる、「チャンピオン」クアドラントにランクインしました。

ウォッチガードの CEO、Joe Smolarski（ジョー・スモラルスキー）は次のようにコメントしています。「Omdia からの評価は、パートナーの皆様がすでにご存知の通り、ウォッチガードのサイバーセキュリティプラットフォームが世界中の MSP にとって確かな選択肢であることを改めて裏付けるものです。当社の勢いが持続していることは、イノベーションの力、プラットフォームの充実度、そして MSP 向けに設計されたエンタープライズグレードのセキュリティを提供できる能力を反映しています。何よりも重要なのは、競争が激化する市場において、MSP の皆様が自社の成長、事業拡大、そしてより強力なセキュリティの成果の実現を支援するパートナーとして、ウォッチガードを信頼していただいていることが証明されたことです。」

Omdia は 2026 年のレポートにおいて、ウォッチガードによる Unified Security Platform (R)（統合型セキュリティプラットフォーム）の拡充と、MSP の運用を簡素化するための継続的な投資を高く評価しました。また、ウォッチガードのクロスセル施策、WatchGuardONE パートナープログラムにおけるイネーブルメント（導入支援）の簡素化、PSA との連携強化、および統合型の WatchGuard Agent を特筆しており、これらすべてが導入時の障壁を低減し、収益性の高いセキュリティサービスの提供を容易にするのだと指摘しています。また、Omdia は、ウォッチガードが拡張したマネージド検知／レスポンス（MDR）機能についても評価しました。この機能は、エンドポイント、ネットワーク、アイデンティティ、クラウドにわたる統合的な保護を提供するとともに、Open MDR を通じてサードパーティー製ツールもサポートしています。

「MSP 各社は、運用上の複雑さを軽減し、セキュリティサービスを拡充するために、ベンダーの集約を進めています」と、Omdia のチーフアナリスト、Matthew Ball（マシュー・ボール）氏は述べています。「ウォッチガードが『チャンピオン』として評価されたことは、

MSP 各社が収益性を高めながら、効率的に事業を拡大できるよう支援する上で、同社が優れた実行力を発揮していることを反映しています。」

同レポートではさらに、ウォッチガードが AWS ISV Accelerate Program を通じてクラウドの市場展開戦略を強化し、AWS Marketplace への掲載を拡大し、AWS Security Competency の認定を取得したことで、ウォッチガード、MSP、および Amazon Web Services (AWS) 間の連携が一層深まったことが評価されました。さらに、ウォッチガードはテレメトリ分析を活用して調査スピードと検知精度を向上させる AI 戦略を推進しています。

「ウォッチガードの最大の特徴は、効率的な事業拡大に必要なテクノロジーとサポートの両方を提供してくれる点にあります」と、ウォッチガードのパートナー企業である Business Solutions のオーナー、Mike Lofaro（マイク・ロファロ）氏は語っています。「MDR、SASE、PSA 連携をはじめ、新しい AI やクラウド機能に至るまで、ウォッチガードは、当社の生産性や収益性を直接向上させるような革新を続けています。」

ウォッチガードが「チャンピオン」に選ばれた「Omdia Global Cybersecurity MSP Ecosystems Leadership Matrix 2026」の全文は[こちら](https://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/omdia-msp-champion-2026)（英語）をご覧ください。

<https://www.watchguard.com/wgrd-resource-center/omdia-msp-champion-2026>

*本資料は、本社が発表したプレスリリースの翻訳版です。

【WatchGuard Technologies について】

ウォッチガードは、マネージドサービスプロバイダー（MSP）向けに設計された統合型サイバーセキュリティ分野におけるグローバルリーダーです。30 年以上にわたり、MSP が大規模なセキュリティ対策を提供する方法を確立し、脅威情勢のあらゆる大きな変化に先んじるべく、絶えず革新を続けてきました。AI を活用した「Unified Security Platform (R)」により、ゼロトラストに対応したネットワーク、エンドポイント、アイデンティティ保護機能を単一の統合プラットフォームで提供し、複雑な運用の軽減、対策成果の向上、ビジネスの効率的な成長を可能にします。世界中で 150 万社以上の顧客を保護する 25,000 社以上の MSP に利用されており、パートナーが世界中の顧客に対して、強力かつ測定可能なセキュリティの成果を提供できるよう支援しています。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は X（@WatchGuardJapan）、Facebook（@WatchGuard.jp）、をフォローして下さい。

X : <https://twitter.com/WatchGuardJapan>

Facebook : <https://www.facebook.com/watchguard.jp>

また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。

SecplicityJP : <https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc. の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel : 03-5797-7205 Fax : 03-5797-7207

Email : jpnsales@watchguard.com

URL : <https://www.watchguard.co.jp>